

日本国際ポスター美術館所蔵 ポスター展2022

U. G. サトーの世界

4月23日(土)

6月19日(日)

大垣市
スイトピアセンター
アートギャラリー
(学習館1階)

入場無料

開館時間 / 9:00~17:00
(入場は16:30まで)

休館 / 火曜(5/3を除く)、5/2月、5/6(金)



Design: Tomoko Miyagawa



ピース PEACE
シルクスクリーン、1978



核実験禁止 NON AUX ESSAIS NUCLEAIRES
シルクスクリーン、1995



レイモンド・サビニャックへのオマージュ
Hommage to Raymond Savignac, 2002



SAVE GREEN
シルクスクリーン、1992

世界のーイせ. @. U



ユーモアポスターで世界に立ち向かう

U.G.サトーの

世界での評価は、「Peace」と題した、青空を背景とし金網の一部が壊れ、その形が平和を象徴する鳩になっている様子を描いたポスターがブルノ国際グラフィックデザイン・ビエンナーレ(チェコ・1978年)、及びラハティ国際ポスター・ビエンナーレ(フィンランド・1979年)で金賞を受賞したことから始まる。

その後も氏は多くのポスターで平和、環境などの社会問題に対するメッセージを、ユーモア、エスプリ、錯視などを巧みに取り入れて描いている。彼自身の誰からも愛されるおおらかでユーモアにあふれたキャラクターは、ポスターを構成する線画や配色にそのまま現れ、世界の人々の目と心をぐっと惹きつける。

1995年、パリでの反核ポスターデモ行進は、彼の最も注目すべき金字塔である。当時フランスが南太平洋で核実験を行った際、氏はそれに抗議するポスターを、デザイン仲間から150枚、FAXで集めた。

そしてパリのデザイナー、ジュラル・パリ＝クラヴェル氏の協力により、シャンゼリゼ大通りでそれらを拡大したポスターを掲げ、大勢での行進を行ったのである。

この時氏がデザインしたゴーギャンの「タヒチの女」を模した「フランスの南太平洋核実験反対」は、翌年のワルシャワ国際ポスター・ビエンナーレ(ポーランド・1996年)で金賞を受賞した。

一連の反核ポスター運動は、その後も対象や媒体の形を変え各地で実行されていった。この運動によりメッセージを発信する速報性の重要性や、解像度の低い白黒の画像でもより視覚的に強く伝えることが

できるなど、「ポスターの可能性」がデザイン界に再注目された機会だったといえる。

日本国際ポスター美術館は1996年の開館以来、氏から大垣国際ポスター招待展への寄贈をはじめ、全国高校生ポスターコンクールの審査委員長、海外のデザイナーの紹介など惜しむことなくサポートしていただき続けている縁で、今回の展覧会の実現となった。その恩恵は計り知れなく、感謝の念に堪えない。

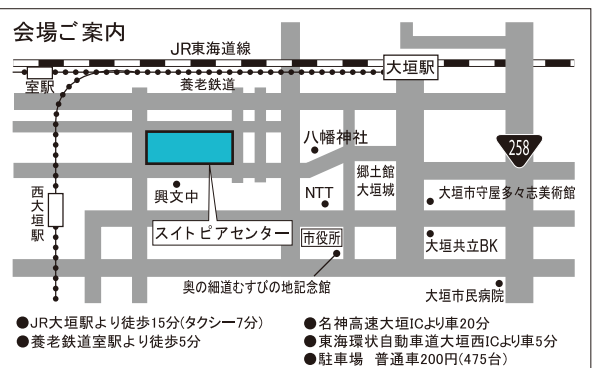
宮川友子(グラフィックデザイナー、大垣女子短期大学 講師)

主催/大垣市・大垣市教育委員会 共催/日本国際ポスター美術館 運営・問合せ/公益財団法人大垣市文化事業団 Tel:0584-82-2310

新型コロナウイルスの感染拡大予防の対策を行っております。

●新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)または、岐阜県感染警戒QRシステムをご活用ください ●発熱等、体調がすぐれない方の入場はご遠慮ください ●マスクの着用をお願いいたします ●間隔を空けてご観覧ください

法務省/人権啓発キャッチコピー
「誰か」のことじゃない。



- JR大垣駅より徒歩15分(タクシー7分)
- 養老鉄道室駅より徒歩5分
- 名神高速大垣ICより車20分
- 東海環状自動車道大垣西ICより車5分
- 駐車場 普通車200円(475台)



大垣市サイトピアセンター アートギャラリー(学習館1階)
岐阜県大垣市室本町5-51 www.og-bunka.or.jp